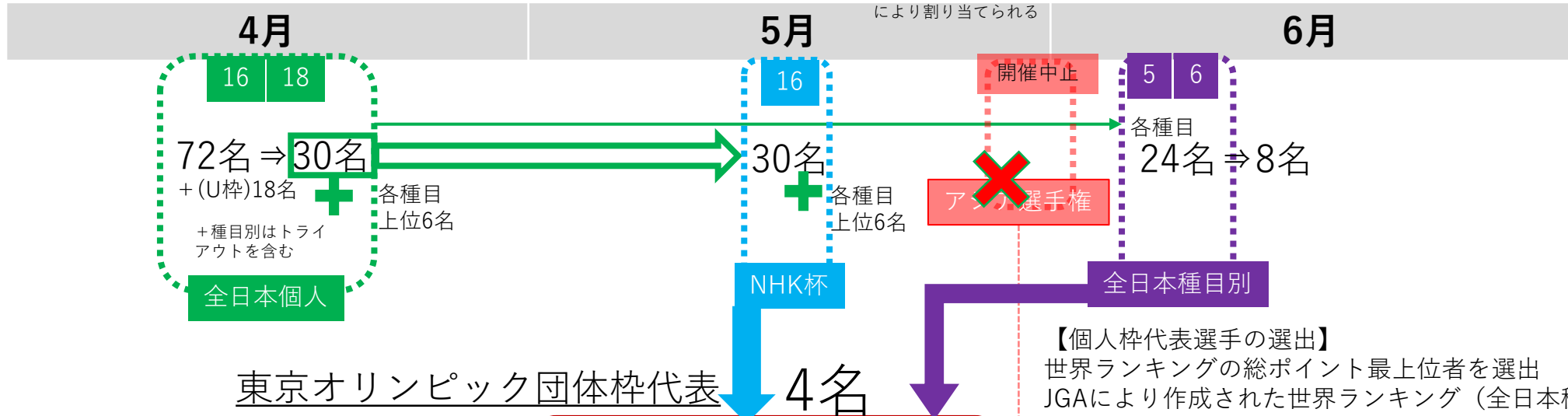


東京オリンピック男子体操競技日本代表選考方法概要

※大陸間枠は、オリンピック団体枠獲得をした国を除く
アジアの国の中から2019年世界選手権個人総合予選の成績
により割り当てられる



【チーム貢献選手2名選出条件】

3 NHK杯5位以内の選手から選考

4 次の条件のいずれかの選手から選考

N杯10位以内／N杯30位内かつ選出対象次点チームに合計1点以上の差で上回っている／世界ランキング獲得選手(5試合中4試合3位以上かつ3試合1位以上。加えて3種目以上でチームに貢献)

■NHK杯個人総合上位2名との組合せで算出されたチーム得点(ベスト3)が最も高くなる選手を選出



<チーム得点算出で採用する得点>

【NHK杯個人総合上位2名の採用得点】

全日本個人総合(予選・決勝)およびNHK杯の3試合のうち各種目得点が高い2試合の平均得点の3倍

【チーム貢献度の判定される選手の採用得点】

全日本個人総合(予選・決勝)、NHK杯、全日本種目別(予選・決勝)の5試合のうち、各種目得点が高い3試合の合計(跳馬は1本目の跳躍の得点)

【個人枠代表選手の選出】

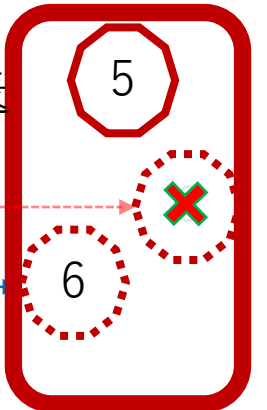
世界ランキングの総ポイント最上位者を選出
JGAにより作成された世界ランキング(全日本種目別決勝終了時点で完成)において、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK杯、全日本種目別(予選・決勝)の5試合の得点を当てはめ、その順位に合わせてポイントを付与

1位かつ0.2差以上	1位	2位	3位	4位
40p	30p	20p	10p	5p

※NHK杯5位以内の選手も5p付与

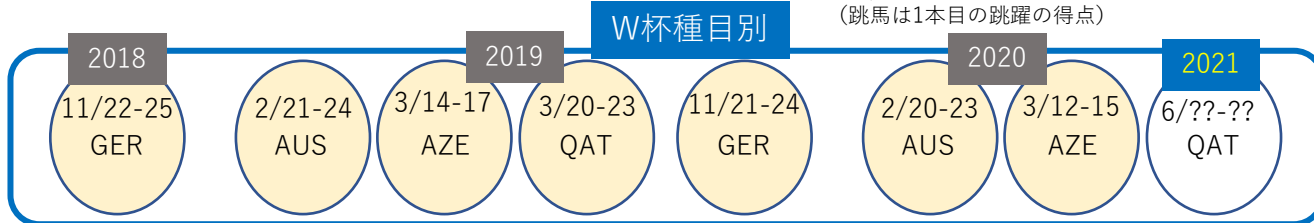
東京オリンピック個人枠代表

※最大2名

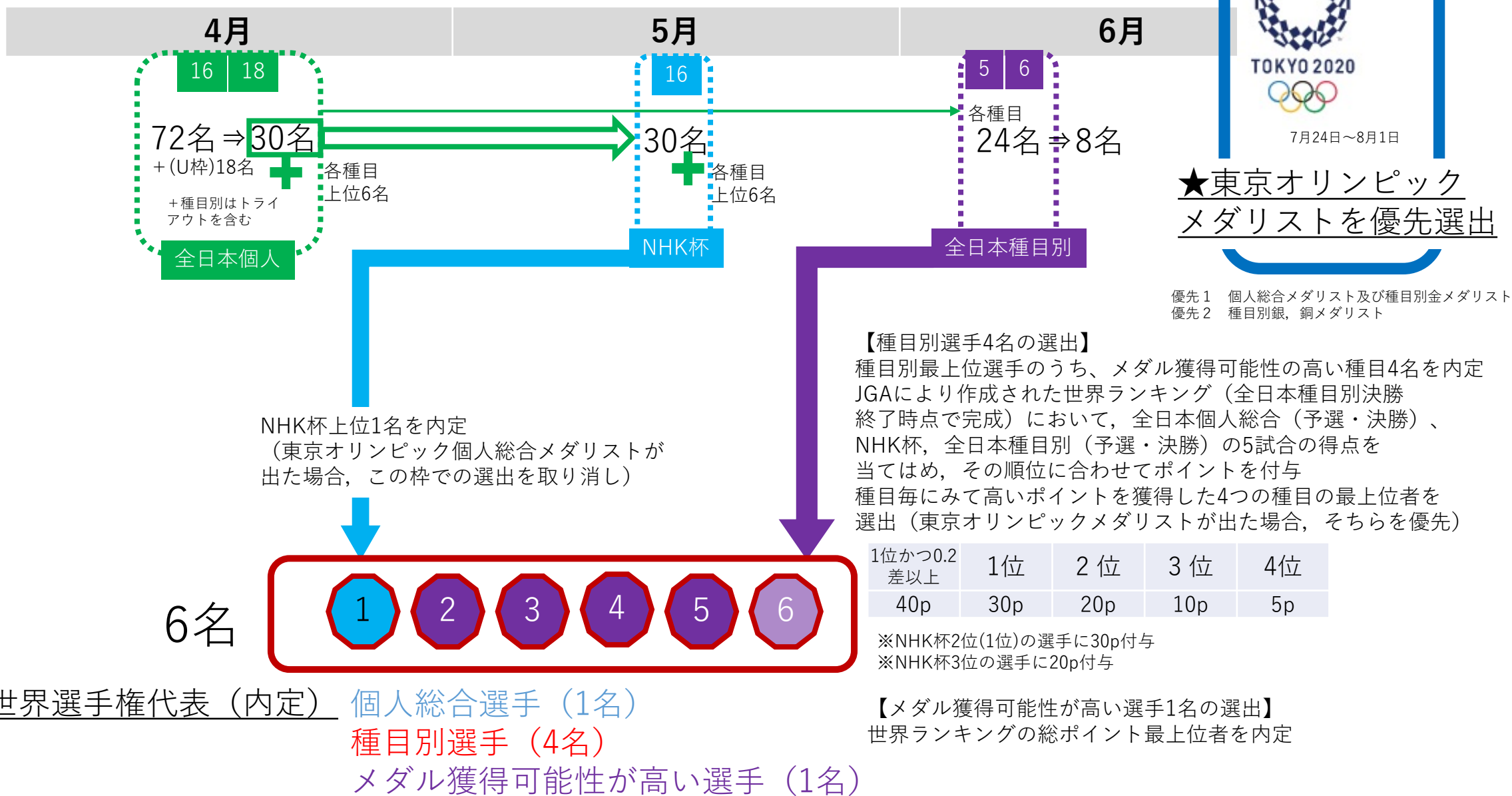


W杯種目別ランキングでFIG指名者がいれば決定。不在の場合、アジア選手権にて日本が国枠を獲得できれば世界ランキングポイント次点者を選出

W杯種目別において東京オリンピック出場資格を獲得した場合、当該選手を個人枠代表に決定。



北九州世界選手権男子体操競技日本代表選考方法概要



※概要版のため、タイブレイク規則など詳細内容は省いております。